広報
いながわ
第786号
平成21年（2009年）1月15日
毎月1日・15日発行
編集・発行
猪名川町総務課
人　口 32,519人
世帯数 11,482世帯
（1月1日現在）
〒666－0292 兵庫県川辺郡猪名川町上野字北畑11－1　電話番号 072（766）0001（代表）ファックス番号 072（766）3732

みんなで支える学校 みんなで育てる子ども

～学校支援地域本部事業がスタート～

地域の教育力を高め、地域ぐるみで学校の教育活動を支援するため、全国の市町村で「学校支援地域本部事業」が始まり、本町においても、学校支援地域本部を設置しました。皆さんの知識や知恵、経験や技能、そして愛情を、私達の未来を担う子ども達にぜひお寄せください。

近年、青少年の犯罪、いじめや不登校など、さまざまな問題が発生しています。この背景には、都市化・核家族化・少子化・個人主義の浸透・となり近所とのつながりの希薄化などによる「地域の教育力の低下」があると指摘されています。

また、学校教育では、教員の業務量の増加が問題になっており、子ども達の抱える多様な問題に対し、きめ細かな指導に当たる時間が確保しづらい状況です。

そこで、地域の教育力を向上させるとともに、地域全体で学校教育をサポートするため、学校と地域との連携体制を構築する「猪名川町学校支援地域本部」を設置し、学校支援ボランティアを募集します。

どんなことを支援するの？

これまでの「いきいき学校応援団」と同じように、授業の補助など学習支援、図書の整理や読み聞かせ、校地の整備や花壇・樹木の手入れなどの環境整備活動、また登下校時の子どもの見守り活動、部活動の指導補助など、学校・幼稚園のニーズに応じてさまざまな支援活動があります（報酬・交通費などは支給されません）。

専門性や資格は？

ある程度の専門性や経験を必要とするものから、特に資格や経験がなくてもできるものまで幅があります。いずれにしても、学校・園の仕組みや教育方針、参加にあたっての配慮事項などをよく理解していただき、できることを、できるときに、できる範囲でしていただくことが大切です。

いきいき学校応援団との違いは？

これまで各小・中学校で行ってきた「いきいき学校応援団」では、直接学校が必要に応じて人材をさがし、調整をしていました。

学校支援地域本部事業では、町実行委員会の「地域コーディネーター」が、学校・園とボランティアを結び付けます（下図参照）。学校・園からの依頼に応え、人材バンクから適任者をさがし、調整して学校・園に派遣します。

学校支援ボランティアに登録するには？

生涯学習課、日生・六瀬住民センター、生涯学習センター、文化体育館にある登録申込書（町ホームページからダウンロード可）に必要事項を記入のうえ、郵送（〒666・0292住所記入不要）・FAX（767・2880）・Eメール（gakushu@town.inagawa.lg.jp）のいずれかで、学校支援地域本部事業実行委員会（生涯学習課内）に提出してください。

問い合わせは、同課（767・2600）へ。

ムラタセイサク君が登場

魚の三枚おろしに挑戦

登下校時の見守り活動

「いきいき学校応援団」など、地域の力を借りてこれまで各学校で実施されてきた支援活動

●●学校支援地域本部事業の流れ●●

学 校

協力依頼・調整

学校支援

学校支援地域本部

実行委員会
社会教育委員および教育委員会事務局職員で構成
★学校支援に関する方針の企画・立案、普及・啓発
★学校支援ボランティアの養成とバンクの管理

地域コーディネーター
退職教職員やＰＴＡ経験者など学校と地域の現状をよく理解している人を生涯学習課に配置
★学校・園の依頼に応じたボランティアを探し、両者の連絡・調整
★社会教育施設などの情報を収集し、学校・園に提供

連絡・調整

学校支援ボランティア
学習支援活動・環境整備・登下校安全確保・部活動指導補助・合同行事開催

市町交通災害共済に加入を！

年額500円の掛金で、通院3日以上の交通事故による傷害・死亡に3万円から最高80万円の見舞金が支払われます。

自転車での転倒事故も対象

自転車での単独転倒事故（公道に限る）であっても、3日以上通院されれば見舞金支払いの対象となります。

▼対象　町内在住・在勤・在学の人

▼掛け金　1人年額500円

▼共済期間　平成21年4月1日～同22年3月31日

▼申込先　自治会での一斉加入、またはコミュニティ課、日生・六瀬住民センター窓口

問い合わせは、コミュニティ課（766・8784）へ。

見舞金一覧表

通院のみ	入院を含む治療日数	見舞金
61日以上	31日以上	5万円～70万円
7日以上		4万円
3日以上		3万円
死亡		80万円